【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【公開番号】特開2012-158325(P2012-158325A)
【公開日】平成24年8月23日(2012.8.23)
【年通号数】公開・登録公報2012-033
【出願番号】特願2012-46968(P2012-46968)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｗ　10/02　(2006.01)
Ｂ６０Ｗ　20/00　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　61/08　(2006.01)
Ｂ６０Ｋ　17/34　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　63/50　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　63/44　(2006.01)
Ｂ６０Ｋ　6/52　(2007.10)
Ｂ６０Ｋ　6/48　(2007.10)
Ｂ６０Ｗ　10/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｋ　6/20　３６０
Ｆ１６Ｈ　61/08
Ｂ６０Ｋ　17/34　Ｚ
Ｆ１６Ｈ　63/50
Ｆ１６Ｈ　63/44
Ｂ６０Ｋ　6/52
Ｂ６０Ｋ　6/48
Ｂ６０Ｋ　6/20　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成25年1月31日(2013.1.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両（１０１）のトランスミッション（１０２）の切替過程中に牽引力に影響を与えるための装置（１０５）であって、
・少なくとも２つの駆動車軸（１０３，１０４）と、
・少なくとも１つのトランスミッション（１０２）とを有し、
・第１の車軸（１０３）の駆動システム（１０６）が切替過程中に、トランスミッション（１０２）の切替過程時に第２の車軸（１０４）で生じる牽引力の中断を少なくとも部分的に補償するように制御され、
２つの駆動車軸における有効トルクの変更が、できるだけ牽引力の下降及び上昇なしに、特にこれに伴い感じられる衝撃なしに行われることを保証するために、切替の希望に応じたクラッチの制御が遅延されて行われ、切替過程後に駆動システムにおいて必要な牽引力が切替過程前に調節されることを特徴とする、車両（１０１）のトランスミッション（１０２）の切替過程中に牽引力に影響を与えるための装置（１０５）。
【請求項２】

第１の車軸の駆動システムが切替過程中に、切替過程中の牽引力の経過が設定されたように行われるように制御される、請求項１記載の装置。
【請求項３】
第１の車軸の駆動システムが切替過程中に、高い牽引力が得られるように制御される、請求項１又は２記載の装置。
【請求項４】
第１の車軸の駆動システムが切替過程中に、牽引力の下降及び上昇が僅かであるように、特に切替衝撃が僅かであるように制御される、請求項１又は２記載の装置。
【請求項５】
切替過程中の牽引力の経過が、牽引力を変更するための限界値が超過されないように行われる、請求項１又は２記載の装置。
【請求項６】
牽引力の経過が、運転者の希望に応じて行われ、特に、切替過程中の運転者の希望が検出されるようになっている、請求項１又は２記載の装置。
【請求項７】
・少なくとも２つの駆動車軸と、
・少なくとも１つのトランスミッション
とを備えた車両において切替過程中の牽引力の中断を少なくとも部分的に補償するための方法であって、
第１の車軸の駆動システムを、トランスミッションの切替過程（２０２）で第２の車軸に生じる牽引力の中断が、少なくとも部分的に補償される（２０３）ように制御し、
２つの駆動車軸における有効トルクの変更が、できるだけ牽引力の下降及び上昇なしに、特にこれに伴い感じられる衝撃なしに行われることを保証するために、切替の希望に応じたクラッチの制御が遅延されて行われ、切替過程後に駆動システムにおいて必要な牽引力が切替過程前に調節されることを特徴とする、車両における切替過程中に牽引力の中断を少なくとも部分的に補償するための方法。